

新型コロナ禍を凌いだ団員による団員のための

倉敷管弦楽団

室内楽コンサート in 児島



倉敷管弦楽団第30回定期演奏会 2004.5.29 於 倉敷市民会館

と き 令和3年10月31日（日）14時開演

ところ 児島市民交流センター・ジーンズホール

入場料 無料 全席自由

感染拡大防止対策のため入場の際に手指消毒及び「もしサポ岡山」への登録をお願いします。

主催 倉敷管弦楽団

ご挨拶

2020年から今なお全世界に影響を与え続けている新型コロナウイルス感染症。私たち倉敷管弦楽団も例外ではなく、緊急事態宣言等の発令による練習施設の利用制限や、それに伴いオーケストラ活動が完全に停止してしまうこともありました。事実、毎年開催していた倉敷音楽祭と定期演奏会も2年連続中止となり、団員のモチベーションは低下し、楽器に触れさえもしない日々が続き、気付けば演奏技術も低下の一途。このままでは45年の伝統を持つ我が団が消滅してしまうのではないかという懸念さえありました。

そんな心折れそうな中、団員同士で話し合い「とにかくモチベーションが上がる目標が欲しい」「コロナが落ち着く頃に演奏会をやろう」「設立当初の原点に立ち戻って小編成のアンサンブルをしよう」との声が上がり、この度の室内楽コンサートを開催することとなりました。

とはいえ、コロナ禍の環境であることには変わりなく、練習時間は十分に取れていません。つたない演奏になるとは思いますが、約2年間渴ききった音楽への想いは、きっと皆様にも伝わるものと信じています。

会場も小ホールならではのアットホームな雰囲気です。頑張って演奏いたしますので、どうか拍手で応援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年10月31日

倉敷管弦楽団 団長 菊池 東

[倉敷管弦楽団]

所在地 〒713-8121

岡山県倉敷市玉島阿賀崎1212 [菊池酒造株式会社](#)内

電話 [086-522-5145](tel:086-522-5145)

F A X [086-522-5146](tel:086-522-5146)

E-Mail info@kurakan.org



プログラム&出演者

- 1 ブラント：協奏的小品 第2番 Op.12
山口博子(tp) 竹村知子(pf)
- 2 ドップラー：アンダンテとロンド
河村香織(fl1) 月本裕子(fl2) 藤津麻衣(pf)
- 3 モーツァルト：ファゴットとチェロのためのソナタ KV292
浅野絢子(fg) 大西智幸(vc)
- 4 ファーナビー：空想・おもちゃ・夢
- 5 ネイグル：ジャイブ・フォー・ファイブ
山崎雄大(tp1) 原田宗範(tp2) 岡田璃生(hr) 松田英一郎(tb) 浅野尚行(tub)
- 6 ブラームス：弦楽五重奏第2番第1楽章
中塚えりか・上原保美(vn) 武本克己・赤塚佳代(va) 大西智幸(vc)
- 7 ハイドン：ディヴェルティメント
- 8 イベール：木管五重奏のための3つの小品
月本裕子(fl) 瀬尾祥治(ob) 福島恭子(cl) 浅野絢子(fg) 熊澤和美(hr)

(休憩10分)

- 9 チャイコフスキー：弦楽セレナード（全楽章）
1stVn：佐藤真理子 荒木加英子 藤田真理 丸山博樹 三宅郁子 柳井典子 渡邊陽子
2ndVn：中塚えりか 串部美幸 上原保美 奥山晃子 中川雅美 山口拓也
Va：赤塚佳代 武本克己
Vc：栗木由美子 大西智幸 平松真弓
Cb：糸島早苗 才野紀香 本屋敷勝信
指揮：菊池 東

演奏曲について

1 ブラント：協奏的小品 第2番 Op.12

明るくキレイな音色が似合う曲です。演奏技術の低下を防止するという意味で自分にとってハードルの高いこの曲に挑戦しました。時間の都合上、第3楽章はショートカットして演奏します。

2 ドップラー：アンダンテとロンド

作曲者のドップラーは、1821年10月生まれ。なんと今月は生誕200周年の誕生月です。右利きと左利きのドップラー兄弟は2人してフルートの名手で、逆向きのフルートを使いこなし、まるで鏡に写ったように超絶技巧を披露していたようです。この曲もどンドンとテンポが変わっていく難曲…本日は河村さんの職場の友人マイちゃんをピアニストにお迎えして、倉管の右利きと左利きのフルート吹きも息のあった演奏をお届けいたします！

3 モーツァルト：ファゴットとチェロのためのソナタ KV292

チェロ&ファゴット名手デュルニツ男爵のために作曲されたソナタ。バロック～古典派音楽への移行期に作られ、素朴で流麗な主旋律重視の曲調となっています。同じ音域を担当する管楽器ファゴットと弦楽器チェロの柔らかく朗らかな響きをお楽しみください♪温もりを感じさせる1楽章、しっとりした2楽章、楽しい3楽章の構成です。2種類の楽器で旋律を奏でます。聴き比べてみてください。

4 ファーナビー：空想・おもちゃ・夢

スペインの古い民謡をモチーフにフィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルのE.ハワース氏が金管五重奏用にアレンジしたもので「古いスパニオレッタ」「休息」「話してダフネ」「おもちゃ」「夢」「新しいサファー」の6つの小品からなります。今回初めて一緒にアンサンブルをするメンバーの誰もが学生時代に演奏経験があるということで選びました。最終曲のサファーはトランペッターの👉腕の見せ所です❤️

5 ネイグル：ジャイブ・フォー・ファイブ

JIVE(ジャイブ)とはスウィングミュージックのことを指し、今にも体が踊り出しそうなジャズテイストの一曲。体にあまり馴染みのない音楽は難しいですが、体に入ってくるととても楽しいものがあります。オケマンとしては普段演奏することがない曲調ですが頑張ってノリノリで演奏しますのでお聴きください！

6 ブラームス：弦楽五重奏第2番第1楽章

ブラームスは弦楽四重奏を3曲、六重奏を2曲、五重奏を2曲書きました。この弦楽五重奏第二番は彼が58歳のときに書かれ、弦楽のみの室内楽では最後のものです。1楽章はオーケストラ的な響きを持ち、交響曲第五番の構想から転じたともいわれています。アンサンブル的にはとても難しい曲ですが、いつかどこかで弦楽五重奏第1番とともに全楽章演奏したいと思っています。

7 ハイドン：ディヴェルティメント / 8 イベール：木管五重奏のための3つの小品

今日はハロウィンですね！私達もお化けのチカラを借りて難曲に挑むことにしました。まずハイドン。元々貴族の食事やパーティーの時のBGMとして作られたそうです。今晚の夕食のお供に是非どうぞ。そしてイベール。どこかで聴いたことはありませんか？実はテレビ朝日の「題名のない音楽会」で少しずつ切り取って使われています。さあさあ、途中で止まってもお化けのせい。それでは5人（たぶん…？）の力を合わせて頑張ります！

9 チャイコフスキー：弦楽セレナード

チャイコフスキーが40歳だった1880年に作曲されたこの曲は、モーツァルトのセレナード形式を意識して作られたと言われています。第1楽章はテレビCMでも使用された有名な序奏で始まり、「ソナチネ」形式の主部に続きます。第2楽章は「ワルツ」、第3楽章は「エレジー(哀歌)」、第4楽章が「ロシアの主題によるフィナーレ」となっており、最後に第1楽章の序奏が再び現れます。技術向上のため、敢えてこの難曲に挑戦します。美しいメロディーがふんだんに出てくる名曲ですので、お楽しみください。